

「里山と水循環」分科会

テーマ：「谷津田の水循環をもっと知りたい！」

日時：平成18年4月15日(土) 午前10時～12時30分
会場：千葉県立中央博物館 講堂

〈プログラム〉

講演 1

「谷津田と地下水と湧水」

新藤 静夫 氏

(千葉大学名誉教授)

講演 2

「水田による水質浄化の働き」

小倉 久子 氏

(千葉県環境研究センター)

講演 3

「印旛沼みためし行動」
～太田谷津～

宇野 晃一 氏

(千葉県県土整備部河川計画課)

パネルディスカッション&意見交換会

コーディネーター

桑波田 和子

(環境パートナーシップちば)

趣旨：台地に降った雨は地下へしみ込み、その一部は谷津頭等から湧水として出てきます。かつてはその湧水を利用して稲作や生活用水として利用していました。さらに水辺の生き物にとっても大切なものであることは今でも変わりありません。ところが、里山や斜面林の開発・伐採による湧水の枯渇、不耕作、残土・産廃問題、多肥料など、湧水そのものが、私達生物にとって不安に思うことが多々あります。一方最近では、窒素分の多い水を灌漑することで、田んぼの浄化機能解明への取り組みも始まっています。「里山と水循環」分科会では谷津田の水循環を良く知ることで、私達にできることは何か？探していきたいと思います。

午後1時30分から「里山と水鳥」分科会を同会場で開催します。健全な水循環について考える場となりそうで、たのしみです。



主催：里山シンポジウム実行委員会・ちば里山センター・千葉県緑化推進委員会
八千代市・千葉県

問合せ先：桑波田 TEL(携帯)090-54159074 E-mail:kuwahatak@hotmail.com